

気象警報発表時の対応について（生徒用）

気象警報発表時には、自宅待機、学校待機など、安全確保を最優先した対応をとってください。

【気象警報】大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪の警報（特別警報を含む）

【警報発表地域】羽島市及び各自の居住地域、通学経路地域

【警報の発表情報の収集手段】（1）各自がテレビ、ラジオ、スマートフォン、インターネットから得る。
（2）居住する自治体の防災無線、広報車から得る。

【1】登校前に警報が発表された場合

羽島市及び居住地域、通学経路地域すべての警報の解除があるまで自宅で待機する。
解除後は【5】へ。

【2】登校途中に警報が発表された場合

- （1）帰宅と登校とで安全であると判断できる方を選択する。
- （2）状況によっては公共施設へ避難する。
＊いずれにせよ必ず学校（担任）に連絡すること。

【3】登校後に警報が発表された場合

- （1）学校の指示があるまで校内で待機する。
- （2）学校の指示により帰宅。または保護者の迎えを待つ。

警報が発表された直後で安全に帰宅できる状況にある場合は、警報が発表されていても帰宅させることがあります。なお、荒天の場合は、保護者への引き渡しを原則とします。いずれの場合も、学校からメールにて保護者の方に連絡します。

＊帰宅後は必ず学校（担任）に連絡すること（原則としてメール配信システムの返信）。

【4】警報が発表されていなくても危険が大きいと判断される場合

警報が発表されていなくても、バスや電車が止まったり、危険が大きいと考えられる場合は、安全な場所に避難したり、自宅で待機する。＊必ず学校（担任）に連絡すること。

【5】羽島市及び、居住地域、通学経路地域すべての警報が解除された場合

- （1）午前6時35分までに警報が解除→ 平常授業
- （2）午前11時以前に警報が解除
解除2時間後から授業開始。（学校よりメール配信システム、ホームページで連絡）
 - ① 居住地域、通学経路地域に警報が発表されていれば自宅で待機する。
 - ② バスや電車の運行状況、通学経路の安全性等を確認したうえで登校する。
 - ③ バスや電車が止まったり、危険が大きいと考えられる場合は、自宅で待機する。
＊自宅で待機する場合は必ず学校（担任）に連絡すること。
- （3）午前11時時点で警報が継続→ 当日の授業は中止。

【大事なこと】自分の命は自分で守る。

- ・必要に応じて自分自身でその場に応じた最も適切な判断をする。
- ・危険箇所には近づかない。
- ・自分の通学経路の危険箇所を確認しておく。
- ・緊急時の家族との連絡方法の確認しておく。

※緊急対応は、原則としてメール配信システム（「すぐメール」）で連絡します。

生徒、保護者の方ともメール配信システムの登録をお願いします。